

第22回南木曾町リニア対策協議会開催される

第22回南木曾町リニア対策協議会が平成29年9月19日(火)に開催されました。

今回の協議会では、8月29日(火)に開催された第3回専門委員会の報告と、JR東海より発生土置き場候補地に係る今後の進め方、非常口用地取得に関する説明、岐阜県山口工区の現況についての説明がありました。また、中部電力よりリニア工事に係る電力供給についての説明があり、各議題に対する意見等議論が行われました。

概要については次のとおりです。



ました。今後この5つの論点に対する議論がメインとなり審議が進められると思われまます。

- ・ 第1、第2水源の涵養[※]量等について
- ・ トンネル工事による、第1、第2水源の水量・水質への影響について
- ・ トンネル工事の工法について
- ・ 万が一、水源への影響があったときの対応について
- ・ 町の意見への対応について

※涵養：地表の水(降水や河川水)が地下に浸透し、地下水となること。

②発生土置き場候補地に係る今後の進め方について

リニア工事による発生土の置き場候補地について、現在JR東海が候補地を確認し、今後地元・地権者への説明や現地の詳細な調査がされようとしています。進め方としては、まず、JR東海が地元・地権者に対し説明をし、了解が得られた候補地から現地の調査が始まります。そし

て、概略図ができた段階で町のリニア対策協議会で協議され、協議会にて承諾されればより詳細な調査・設計へと進みます。その後、地権者や管理者といった関係者間の調整・協議・手続きが済み次第、発生土を受け入れるための工事が着手となる予定です。

③非常口用地取得について

広瀬非常口に関して説明がありました。広瀬非常口は、現地での測量作業等が終わったため、関係する地権者に対して個別の説明が始まります。計画内容について、地権者の了解が得られれば現地に用地取得範囲を示す幅杭の設置がされます。その後、地権者に対して個別に、用地説明や用地測量、用地取得といった手続きが進められます。

また、広瀬非常口の計画において、坑口位置の変更があり、周辺道路の計画と併せて現在予定される計画の概要説明がありました。坑口の位置に関しては、地表踏査の結果から事業説明会時の計画に比べ、やや東の位置へ変更となりました。周辺道路の計画に関して2点説明があり、まず非常口ヤード付近の道路は、工事期間中夏虫橋上流に仮設の栈橋が設置される計画となります。

①第3回専門委員会の報告

長野県環境審議会が設置した専門委員会の3回目となる会議が8月29日、長野県庁において開催されました。専門委員会では、まず南木曾町から長野県へ提出された「妻籠水道水源保全地区における行為の事前協議に関する意見について」町から説明があり、続いて町の建設環境課上

下水道係から「妻籠水源の基本情報」の説明がありました。簡易水道の施設情報や取水状況、個人水道に関する情報が示されました。

その後、第2回専門委員会(7月5日)で委員から町とJR東海それぞれに出された意見に対する両者の回答があり、最後に専門委員会における論点について次の5つが示され

